

# 第13回 輝け!イマリフェスタ イルミネーション点灯式

11月28日、伊万里駅前広場で『輝け!イマリフェスタ』が開催され、イルミネーション点灯式がありました。このイベントは、道行く人に冬を少しでも暖かく感じてもらうと、伊万里商工会議所青年部が実施したものです。10万個余りのLED電球が一斉に光を放つと、辺りは幻想的な光景に変わり、訪れた観客から歓声が沸き上がりました。この日は、合唱や太鼓・バンド演奏などが披露されたほか、わたがしの無料配布、温かいうどんや伊万里牛ハンバーガーなどの販売コーナーの出店もあり、大勢の人でにぎわいました。イルミネーションは、2月末まで楽しむことができます。



サンタやトナカイの登場で会場を和ませた伊万里小学校コーラス部



南北道路の街路樹に設置されたイルミネーションの様子



きらびやかに装飾された駅前口タリー内のくすの木



点灯ボタンが押され、イルミネーションが一斉に光を放った瞬間



## 人のうごき

平成27年12月1日現在  
 ●人口 56,368人 (-18)  
   男 27,042人 (+8)  
   女 29,326人 (-26)  
 ●世帯 22,811世帯 (+26)  
   ( )は前月比

## 広報 伊万里 2016-1

- 発行日/平成28年1月1日
- 発行編集/伊万里市情報広報課広報係  
(0955)23-4313 (直通)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ  
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷/山口印刷株式会社

伊万里に冬の訪れを告げる風物詩として、数々のドラマが刻まれてきた市内一周駅伝競走大会。選手たちは地域の期待を背負い、仲間や家族の思いに応えようと、汗がしみ込んだ襷(たすき)を懸命につなぎます。先日取材した折、感動の光景に出会いました。それは、レース後半の連続する3区間でのこと。ある町のチームが弟から兄へ、兄は父として息子へと襷をつなぎました。監督の粋な計らいだったのかなと感じつつ、レース終了後に成績発表を聞いた瞬間、鳥肌が立ちました。その兄(父)は41歳にして、ほかの若い選手たちを抑えて区間賞を獲得、しかも区間新記録です。体力の衰えは幾分あっても、おそらく人一倍練習を積まれたのでしょう。走行中はどうなにかに苦しんでも、弟と息子の存在が背中を後押ししてくれたはず。そして、息子にとっては誇らしい父の雄姿だったと思います。年が明けて、県内はいよいよ駅伝シーズンの本番。伊万里勢の健闘を祈ります。(拓)

編集室から